

# Veo 3.1 次世代AI動画生成 の 革新

人物同一性と4K画質が  
拓く新時代

February 2026 | AI Trend Report



# 本日のアジェンダ

---

- 01** 人物同一性の実現
- 02** 4Kアップスケール機能
- 03** 縦型動画（9:16）のネイティブ生成
- 04** ビジネスシーンでの活用と信頼感

## SECTION 01

# 人物同一性の実現

AI動画生成の最大の課題を解消

---

# 従来の課題: 人物の不一致

---

## ① シーンごとの変化

これまでのAI動画生成では、シーンが切り替わるたびに人物の顔や服装が変化してしまい、「同一人物」として認識させることが困難でした。

## ② ストーリー性の欠如

キャラクターの一貫性が保てないため、長尺のストーリーや連続性のある映像作品を作ることが大きな課題となっていました。



# 革新的な機能: 個別画像読み込み

---

## キャラクターと背景の分離

特定のキャラクター画像と背景画像を個別に読み込ませて動画化する機能を搭載。従来の手法とは一線を画すアプローチです。

## 特徴の完全な維持

AIが参照画像の人物特徴を正確に維持したまま、自然な動きのある動画を生成します。



# 実現できること: ストーリー性のある動画

---

- **最初から最後まで「同じ人物」**

物語の冒頭から結末まで、同一のキャラクターが登場し続けることが可能です。  
視聴者の没入感を途切れさせません。

- **違和感のない高品質な映像**

キャラクターの一貫性が保たれることで、プロフェッショナルな品質の映像コンテンツ制作を実現します。



## SECTION 02

# 4Kアップスケール機能

圧倒的な映像美の実現

---

# 従来の課題: 解像度の限界

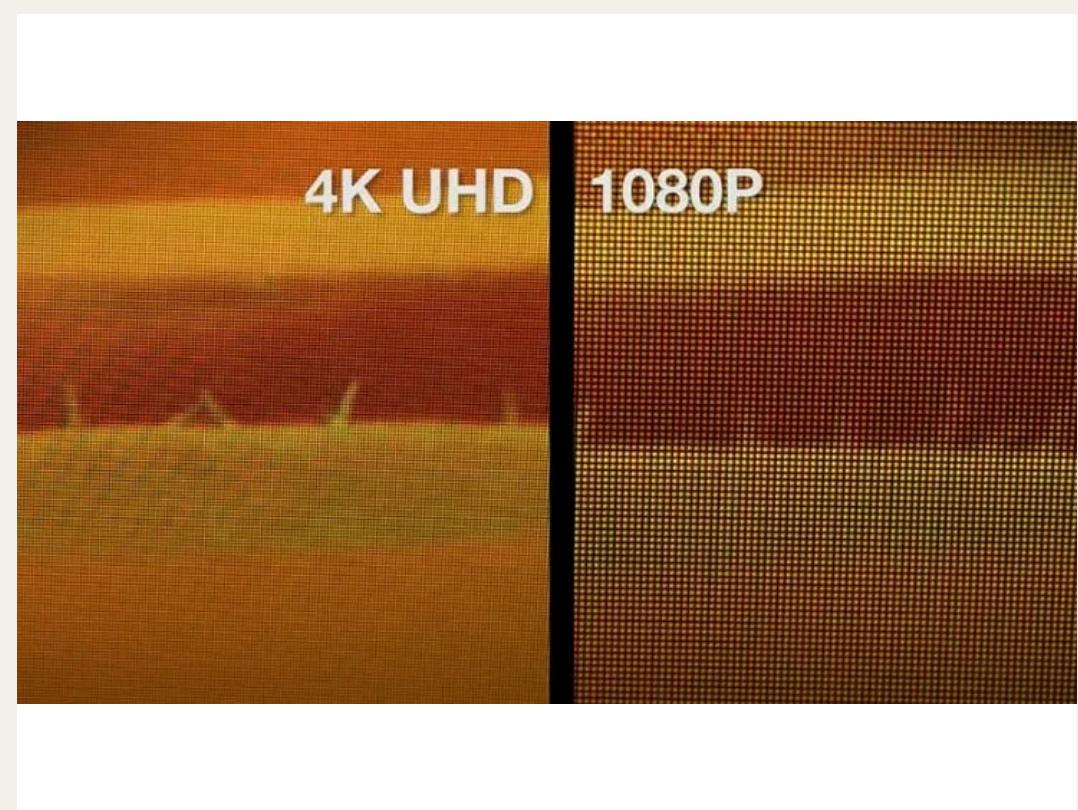
---

## ⚠ 720p (HD) の壁

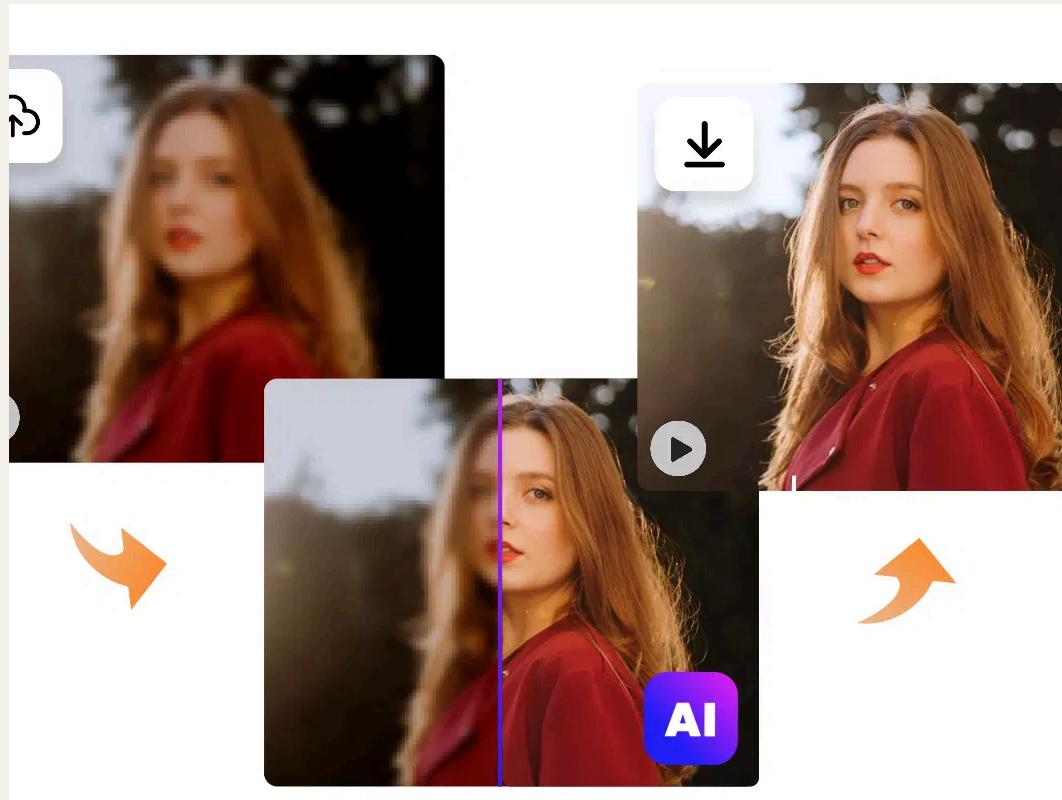
多くの動画生成AIは出力解像度が720p程度に限られていました。

## 🔍 大画面での粗さ

PCモニターや大型スクリーンで再生すると、細部の粗さや「AI特有のぼやけ」が目立ち、プロフェッショナルな用途での使用を躊躇させる要因となっていました。



# 4Kアップスケールによる解決



## ❖ 4K解像度への対応

Veo 3.1は生成された動画の**4Kアップスケール**に対応。

これまでにない高精細な映像出力を実現しました。

## ／ 圧倒的なディテール

髪の毛の質感、光の反射、肌のキメ細やかさまで鮮明に描写。

細部まで妥協のないクオリティを提供します。

## SECTION 03

# 縦型動画（9:16）の ネイティブ生成

SNS向けコンテンツ制作の効率化

---

# 従来の課題: トリミングによる劣化

---

## ■ 横長動画からの切り出し

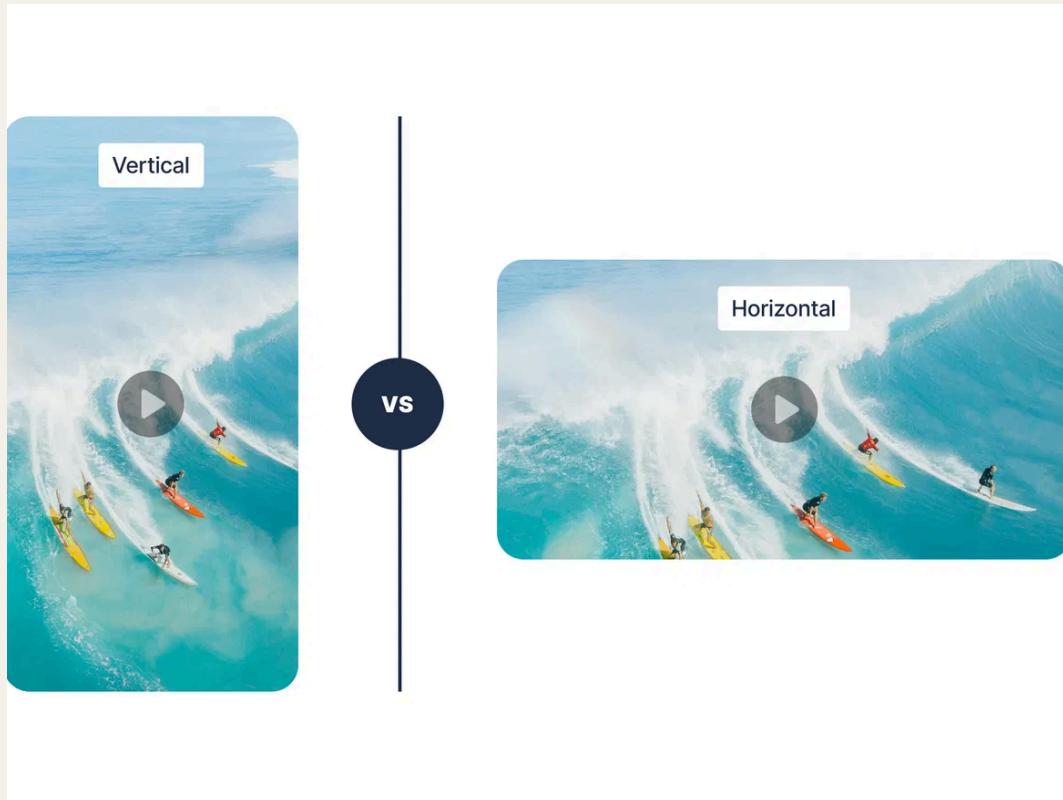
従来は横長で生成してからトリミングする必要があり、**構図の崩れ**や意図しない見切れが発生していました。

## ※ 画質の低下

拡大・クロップ処理に伴い、元の画質から劣化してしまうことが避けられませんでした。



# ネイティブ生成による解決



## 📱 最初から9:16で生成

Veo 3.1は縦型アスペクト比での生成に標準対応。構図そのものが縦型用に最適化されて出力されます。

## ✓ 被写体の収まりと画質

被写体が画面に美しく収まり、トリミングによる画質の劣化も一切ありません。

# SNSコンテンツ制作の効率化

---

## 効率的なワークフロー

編集や調整の手間を大幅に削減。

SNS向けのコンテンツ制作において、非常に効率的な制作フローを実現します。

## 主要プラットフォームに対応

YouTube Shorts

TikTok

Instagram Reels



# ビジネスシーンでの活用と信頼感



## 撮影不要の映像制作

実在する社員やモデルの写真を使用し、撮影を行わずに本人が出演しているかのような映像素材を作成できます。

## 圧倒的な信頼感

「人物の同一性」によるストーリーテリングと、「4K画質」による細部の描写力で、実写と遜色のない信頼感を演出します。

### 主な活用シーン

企業の受付モニター

展示会・イベント

テレビ放映